



創造力に味方する、新・映像表現力。

圧倒的な高性能・高画質でビデオ映像に新しいクオリティの世界をもたらした、ソニーのビデオ・テクノロジー。この高画質化のトレンドを受けて、より高次元の編集能力を備えた新世代のビデオ・エディトリアル・マシン——それが、“エディット・ギア”シリーズです。今までのビデオ編集の枠を超える、この新しい表現力が、映像クリエイターの創造力をより豊かに刺激することでしょう。



●写真左からカメラ型ビデオ(EDカム)EDC-50/デジタルフレームメモリテレビKV-29ED1/デジタルSEG XV-Z10000/EDベータビデオデッキEDV-8000

※クロマキーの説明のため印刷処理した写真をハモミ合成しています。

デジタルフレームメモリー2回路搭載。この高性能が、2画面合成、クロマキーなどを実現する本格的デジタルSEG。

高画質ビデオの世界を拓くソニー・ビデオテクノロジーから、いま新世代の「映像表現力」が誕生。デジタルSEG(特殊効果装置)XV-Z10000は、4:1:1コンポーネント方式をはじめ、プロ仕様に迫るクオリティの高い基本性能に加えて、デジタルフレームメモリーを2回路搭載した本格的ビデオ編集機。クロマキー、ミキシングなどの多彩な機能で、映像表現に新しい扉を開きます。



※ミキシングの説明のため、テレビ画面は印刷処理した写真をハメコ合しています

■4:1:1コンポーネント方式(Y/R-Y/B-Y) ■ダブルフレームシンクロナイザー ■デジタルビデオメモリーモジュール ■外部同期 ■YC 8ビット量子化(A/D,D/A) ■6fsc CCD3ライン相関コムフィルター ■金メッキRCAピンジャック・S映像端子 ■RGB BNC入力 ■銅メッキシャーシ ■デジタル/アナログ完全独立レギュレーター
プロモデルに迫るクオリティの高い基本性能に加えデジタルフレームメモリー2回路搭載の、高級仕様。デジタルSEG[®] XV-Z10000は、4:1:1コンポーネント方式(サンプリングレートY=14.3MHz、R-Y/B-Y=3.58MHz)の採用に加え、量子化=8ビット(Y/C共)、そしてY/C分離に6fsc CCD3ライン相関コムフィルターも採用。また、金メッキRCAピンジャック・S映像端子や、RGB BNC入力端子も装備して、徹底した高画質対応を実現。さらに、デジタルフレームメモリー2回路搭載の、ダブルフレームシンクロナイザー方式を採用。同期していない2つの異なる映像信

号を内部同期し、そのま合成して出力できます。このフレームシンクロナイザーは、TBC効果をもたらすうえ、FS出力端子からは互いに同期した2つの映像信号を出力します。これを他のSEGにつないで利用すれば、また新たな特殊効果を加えることができます。デスクトップ型コントロールユニットにより、多種多彩な特殊効果を、シンプルな操作で実現。XV-Z10000は、本体から独立したコントロールユニットの使いやすいキー配列により、操作はきわめてシンプル。■マルチエフェクト部の操作によるデジタルビデオエフェクト機能——マルチ画面(写真①)、PinP(写真②)、写真③)をはじめ、画面を9分割し中央以外の画面が次々と静止画になり続けるメモリーアクション(写真③)、さらに、3段階の粗さが選べるモザイクアート、ネガポジ反転、ホワイトバランス調整で画面全体の色あいを変えるカラーコレクト、ソラリゼーションなどが可能。また、1台のモニターが3台分に使えるスーパービジョン(写真④)は、編集出力画像をモニターしながら

ら2つのライン入力画像も小画面でモニターできます。■画像合成部の操作による高度な特殊効果機能——画像のフェードイン(写真⑤)・フェードアウトはもちろん、デジタルフレームメモリー2回路搭載により、同期していない2つの映像信号を利用して、画像合成などの高度な編集を実現。2つの入力画像を重ねながら入れ替えるミキシング(写真⑧)をはじめ、特定の色の部分を別の画像と入れ替えるクロマキー(写真⑥)や、より高度な外部キー、さらに、画面に別の画像を挿入しながら入れ替えるワイプ(写真⑦)などができます。ワイプは、デジタルワイプパターンにより27種のワイプができるほか、ズーム(写真⑨)やスクロール(写真⑩)との組み合わせで、さらに32種のワイプができ、自在な編集が楽しめます。



①マルチ画面

マルチ画面で16分割画面にした状態。分割は4分割から最大144分割まで可能。

②PinP(ピクチャー・イン・ピクチャー)

Pin Pで、小画面を挿入した状態。小画面の位置は、四隅のうち好きな場所に指定可能。

③メモリーアクション

メモリーアクションで、中央以外の画面を順次静止画にしている状態。

④スーパービジョン

編集出力画像のモニターをしながら、スーパービジョンで2つの小画面を挿入した状態。

⑤フェードイン

黄のバックカラーに、ライン入力画像をフェードインしている状態。

⑥クロマキー

クロマキーで、ライン-A画像の特定の色の部分に、ライン-B画像を挿入した状態。

⑦ワイプ

たての帯状のパターン(上)と、階段上のパターン(下)によるワイプをかけた状態。

⑧ミキシング

ミキシングで、2つのライン入力画像を重ね合わせた状態。

⑨<ZOOM I>

ズームIで、片方の画像のみを縮小するワイプをかけた状態。

⑩<ZOOM II>

ズームIIで、両方の画像を拡大・縮小するワイプをかけた状態。

⑪<SCROLL I>

スクロールIで、片方の画像のみをずらしていくワイプをかけた状態。

⑫<SCROLL II>

スクロールIIで、両方の画像をずらしていくワイプをかけた状態。

〈その他の機能〉●マルチ画面で選んだ分割画面を好みの画面で次々に静止画にできるタイトルラインデックス機能。●スチル機能。●静止画を一定間隔で次々に表示するストロボ機能。●メモリーアクションで9分割された画面を中央の画面に次々に1回ずつ再生するリプレイ機能。●画面の異なる位置に異なる大きさの画像を次々に表示するランダム機能。●明るさを(16/8/4段階に)単純化した画像を表示するビットデフェクト機能。●画像を好みの単色にするモノトーン機能。●画像に、明るさに応じて特定の色をつけるシミュレートッドカラー機能。●画像の特定の色の部分を好みの色に変えるカラーリング機能。●画像を水平または垂直方向に拡大・縮小するズーム機能。●画面に表示する画像を瞬時に入れ替えるカット機能。●代表的な特殊効果を次々と自動的にこなすデモモード。●4系統入力セレクター機能。●金メッキRCAピンジャック・S映像端子装備。●RGB(BNC)入力端子装備。●全照光型LEDスイッチ採用。●大型ミキシングレバー採用。

より高度な編集を楽しむために

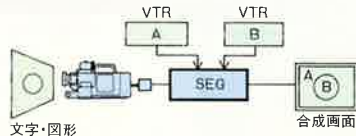
■R/G/B/SYNC端子の使い方

このR/G/Bコンポーネント信号端子は、R(赤)、G(緑)、B(青)の各原色信号を直接入力する端子で、クロマキー使用時に、よりクオリティの高い効果を発揮。メインユニットのSOURCE IN-4端子の入力セレクトスイッチで切り換えて使用します。

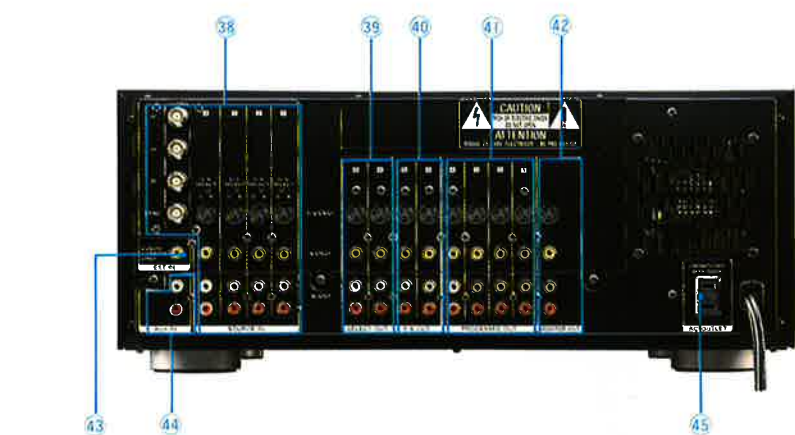
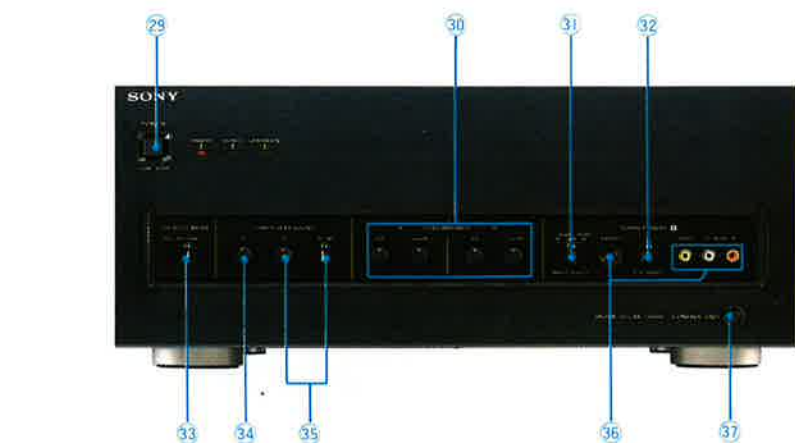
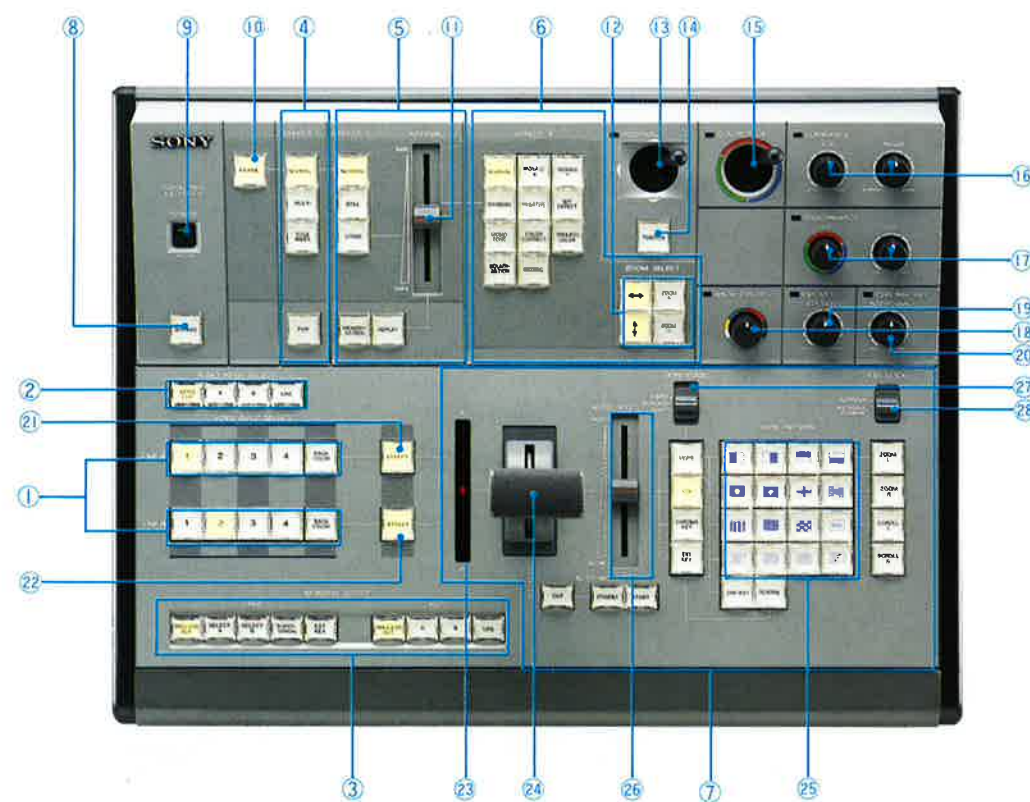


■外部キーについて

外部から供給される信号の輝度レベルを利用して画像の一部を抜き取り、そこに別の画像を挿入すること。抜き取る大きさや位置は、ビデオカメラで外部キーに使う図形を撮影して決めます。

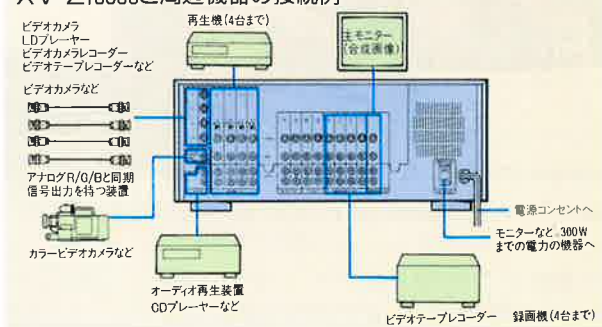


27種のワイプパターン、32種のズーム&スクロール。 この高度な編集機能は、プロのテクニックに肉迫する。



- 1 映像入力選択部: PROCESSED OUT端子、MONITOR OUT端子、SELECT OUT端子、FS OUT端子の、各出力端子に出力する画像を指定します。
- 2 音声入力選択部: PROCESSED OUT端子に出力する音声を選択します。デジタルSEGが出力する画像に合わせて音声を出力するには、VIDEO LINK ボタンを押します。
- 3 モニター出力選択部: MONITOR OUT端子に出力する映像と音声を指定します。
- 4 エフェクト1部: マルチ画面、タイトルインデックス、PinPの各特殊効果を加えるときに使用します。
- 5 エフェクト2部: スチル、ストロボ、メモリアクション、リプレイの、各特殊効果を加えるときに使用します。
- 6 エフェクト3部: モザイクアート、ランダム、ネガポジ反転、ビットディフェクト、モーション、カラーコレクト、シミュレートドカラー、ソラリゼーション、カラーリングの、各特殊効果を加えるときに使用します。
- 7 画像合成部: デジタルSEGの2画面合成により、カット、ミキシング、ワイプ、クロマキー、外部キーの、各特殊効果を加えるときに使用します。ワイプやミキシングを手動で行なうときは、ミキシングレバー(24)を使います。
- 8 バイパスボタン 9 電源スイッチ(コントロールユニット)
- 10 フレームボタン 11 インターバルレバー
- 12 ズームセレクト部 13 ポジションスティック
- 14 ポジションボタン 15 カラープラススティック
- 16 ルミナンスレベル/ルミナンスレンジつまみ
- 17 クロミナンスヒュー/クロミナンスレベルつまみ
- 18 バックカラーつまみ 19 外部キーレベルつまみ
- 20 インサートゲインつまみ 21 ライン-Aエフェクトボタン
- 22 ライン-Bエフェクトボタン 23 ポジション表示器
- 24 ミキシングレバー 25 ワイプパターンボタン
- 26 オートスピードレバー 27 ワイプエッジスイッチ
- 28 外部ロックスイッチ
- 29 電源スイッチ(メインユニット)
- 30 クロミナンス-A/-B調整つまみ 31 入力セレクトスイッチ
- 32 ソース入力4のS/Vセレクトスイッチ
- 33 出力モードスイッチ 34 外部同期水平位相つまみ
- 35 外部サブキャリア位相つまみと、スイッチ
- 36 映像・音声端子とS映像端子
- 37 コントロールユニットコネクタ 38 ソース入力端子
- 39 セレクト出力端子 40 FS出力端子
- 41 プロセス出力端子 42 モニター出力端子
- 43 外部キー入力端子 44 AUX IN端子 45 電源コンセント(最大300W)

XV-Z10000と周辺機器の接続例



デジタルSEG

XV-Z10000 新発売

標準価格 700,000円(税別)

主な仕様(電気特性) ●信号方式: NTSCカラー方式 ●システム構成: ダブルフレームシンクロナイザー(内部・外部同期切り換え) ●スイッチ方式: 垂直ブラッキングスイッチャー ●映像信号処理: コンポジット方式(Y/R-Y/B-Y) ●量子化ビット数: 8ビット ●サンプリングレート: 14.3MHz(Y), 3.58MHz(R-Y/B-Y) ●メモリー容量: 1フレーム(2フィールド) ●A/B2系統(入力端子) ●SOURCE IN-1/2/3/4: 映像入力(4系統) ●ピンジャック/S映像端子(切り換え)、音声入力(4系統) ●ピンジャック ●R/G/B/SYNG: R/G/B入力-BNC端子 ●EXT IN: 外部映像入力(外部同期入力兼用) ●ピンジャック ●AUX IN: 外部音声入力 ●ピンジャック(出力端子) ●PROCESSED OUT-1/2/3/4: 映像出力(4系統) ●ピンジャック/S映像端子、音声出力(4系統) ●ピンジャック ●FS OUT-A/B: フレーム同期映像出力(2系統) ●ピンジャック/S映像端子、音声出力(2系統) ●ピンジャック ●SELECT OUT-A/B: ライン選択映像出力(2系統) ●ピンジャック/S映像端子、ライン選択音声出力(2系統) ●ピンジャック ●MONITOR OUT: モニター映像出力(1系統) ●ピンジャック/S映像端子、モニター音声出力(1系統) ●ピンジャック(その他) ●電源: AC100V、50/60Hz ●消費電力: 110W ●重さ: メインユニット約15kg、コントロールユニット約4kg

この誌面に掲載の全商品の価格には消費税は含まれておりません。

色補正をはじめ、多彩な映像処理を高画質でこなす、 2系統S映像端子対応の、ビデオマルチカラーコレクター。

時代は高画質へ。いまS映像端子付テレビの普及などにより、ビデオ編集の世界も高画質化がますます求められています。

こうしたニーズにお応えする、S映像端子付マルチカラーコレクター XV-C900。ジョイスティック操作で、簡単に微妙に色補正ができるうえ、8種類の色画面が自在に作り出せ、さらに17通りのワイプも可能。多彩な映像エフェクトが、あくまでも高画質で実現します。



※ネガポジ反転説明のため、テレビ画面は印刷処理した写真をハメコミ合成しています。

高画質時代のニーズに対応する、 S映像端子付マルチカラーコレクター、XV-C900。

カメラ撮りの時に補正できなかった誤ったホワイトバランスなどを正しい色調に補正する——XV-C900は、このカラーコレクターの基本機能を、あくまでも高画質で、しかも手軽に高精度に実現するビデオマルチカラーコレクターです。入・出力端子には、高画質のカギを握るS映像端子を2系統搭載。クロスカラーやドット妨害のない、美しい鮮明画像が得られます。この高画質対応のもとに、カラーコレクション機能をはじめ、数々の編集テクニックを可能にする多彩な映像エフェクトを満載。バックカラーとして8種類の色画面を自由にコントロールできるバックカラージェネレーター機能と、17通りに使い分けられるワイプ効果、そして白フェードや黒フェード、バックカラーによるフェードイン・フェードアウトがレバー操作で自在に操れるAVフェーダーなど、まさに充実した機能。一段と個性豊かな高画質ビデオ編集が、思いのままに楽しめます。

より高度な色補正。ジョイスティック操作で、 ホワイトバランス調整+ブラックバランス調整が可能。

XV-C900は、ジョイスティックを使った簡単操作で、連続して自由に、ホワイトバランスとブラックバランスの調整が可能。白いものを白く補正するホワイトバランス調整(P.8写真①)に加えて、黒いものを黒く補正するブラックバランス調整(P.8写真②)をすることにより、一段と精度の高い色補正が実現します。この機能を使うと、画面を徐々にモノトーンにしたり、逆にモノトーンからカラー画像にしたりという操作や、真昼の情景を夕景に変えたり



といった変化に富んだ色調効果も自由自在。さらにワイドレンジスイッチを押すと、色調の補正量は約3倍になり、大幅な色補正が可能になります。

また、白や黒以外の色に合わせて画面をカラー調整した時は、ホワイトクリップとブラッククリップ機能によって、白や黒の部分から不自然な色付けをなくし、画面全体をより自然な色に補正することができます。

8種類の色画面を自由にコントロールできる、 バックカラージェネレーター機能/ビデオアート機能。

バックカラージェネレーター機能は、カラーセレクトつまみを操作することによって、カラー調整に便利な8本のカラーバー(P.8写真③)をディスプレイできるほか、8種類の色画面を自由に作り出すことができます。さらに、このバックカラーのうちのひとつを利用して、画像の明るいところ、または暗いところから、ボリュームの操作によって徐々に色付けをしていく、ビデオアート機能(P.8写真④)も可能です。

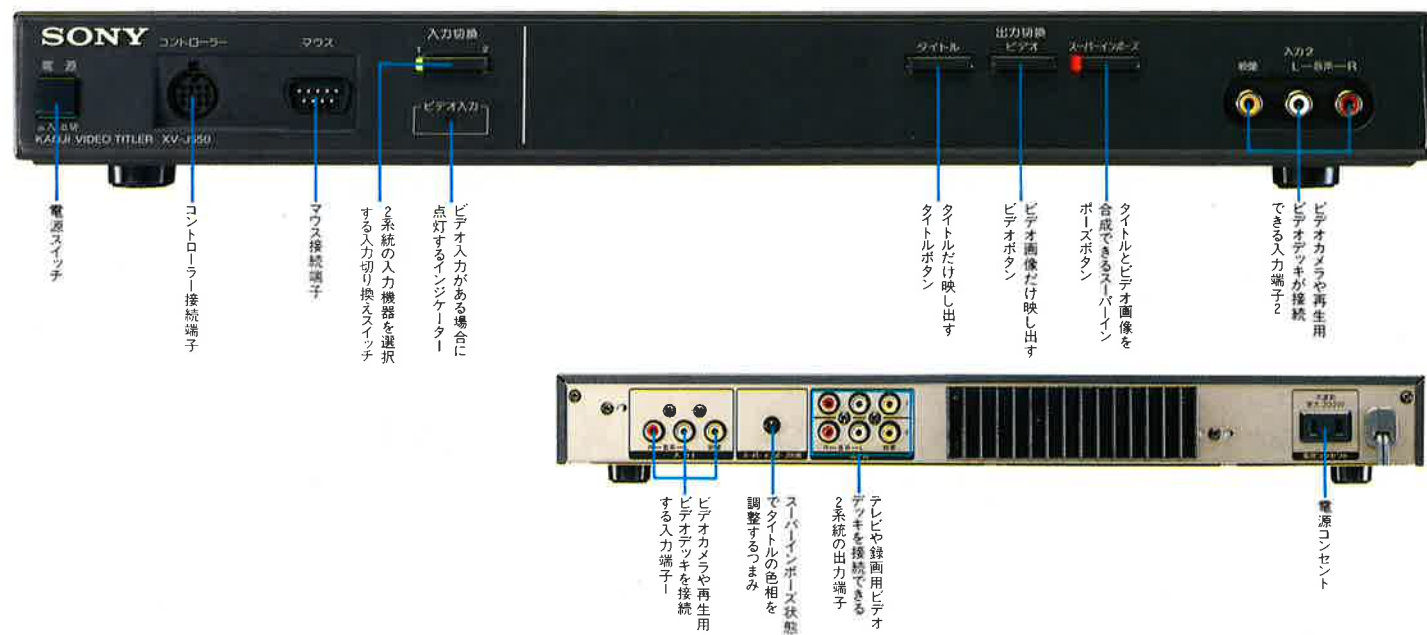


ビデオ画像に印象的なタイトル合成。手軽に自由に 作品の個性を高める漢字ビデオタイター。

ビデオ作品に思い思いの工夫をこらしたタイトルを入れる。それだけで見たときの印象度は、だんぜん違ってくるものです。XV-J550は、好きなタイトルを、マウスで簡単に作成、さらにビデオ画像へのスーパーインポーズを可能にした漢字ビデオタイターです。ワープロにも匹敵する充実の文字パターンをはじめ、各種ワイプ機能やメモリー機能などにより、多彩で個性的なタイトルが作れます。



※テレビ画面は、ハメコミ合成しています。



多彩な文字パターン



文字の色は、使用頻度の高い15色を用意。さらに、太さ(ゴシック体4種類/明朝体4種類の計8種類)、太さ(4種類)、斜体(4種類)、影および輪郭(4種類、15色)、アンダーライン・枠囲み(各15色)、横書き/縦書き、といった多彩な文字パターン/修飾バリエーションが選択可能。さまざまな組み合わせによって、カラフルで表現力豊かなオリジナルタイトルづくりが楽しめます。

人名・地名にも対応

JIS第1・第2水準漢字を標準装備。人名・地名を中心とする固有名詞にも、きめ細かく対応できます。

最大10画面のメモリー機能

作成したタイトルを最大10画面まで記憶できるメモリー機能を装備。コントローラーのタッチ操作で、登録/呼出しも簡単です。また、バッテリーバックアップ機構により、メモリー内容を約5年間保持できます。

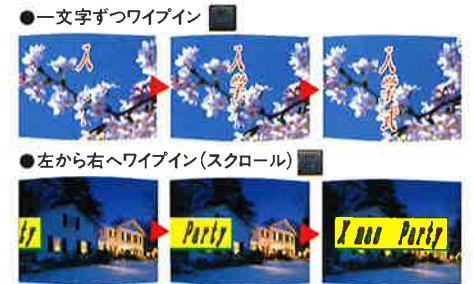
記号や絵を作成できる外字機能

オリジナルの記号などを、自分でデザインして作れる外字機能を装備。最大10文字まで登録可能です。

スーパーインポーズ機能

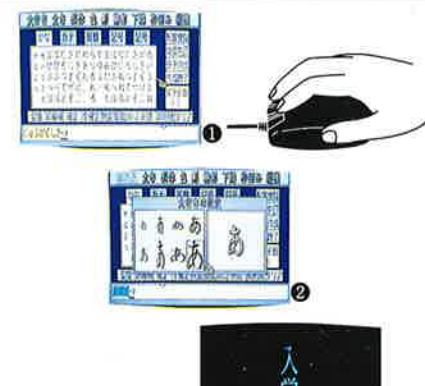
本体の出力切り換えスイッチをスーパーインポーズモードにすると、作成したタイトルとビデオ画像の合成が可能。さらに、録画用のビデオデッキを接続すれば、合成したタイトル画入りの画面を記録できます。

12種類のワイプ/スクロール

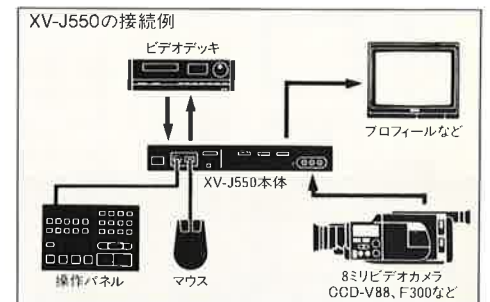


タイトルの出し方(ワイプイン)/消し方(ワイプアウト)は、ワイプパターンボタンにより選択。左(右)から右(左)へ、上(下)から下(上)へ、中心(外周)から外周(中心)へ、といった基本ワイプに加え、画面の中へスライドさせるスクロールなど合計12種類。ワイプスピードも自由にコントロール可能。

むずかしいキーボード操作は不要。
マウス&メニュー方式のやさしさで
タイトル作成が実現します。



手のひらに収まるマウス。画面上のカーソル(マウス)を動かして、目的の文字/機能に重ねてボタンを押すだけの簡単操作です。〈文字を選ぶ〉画面上で、かな・カナ・英数字・記号を選択。(写真①) 漢字変換もワープロ感覚です。〈文字パターンを選ぶ〉次に、大きさ(写真②)、太さ、色などの文字パターンを選択。表示されたパターンの中から、好みのものを設定します。〈レイアウトする〉マウスを動かしてタイトル文字を好みの位置に移動。メニュー画面で「作成終了」を選択してタイトル作成が終了。(写真③)



漢字ビデオタイター
XV-J550
標準価格 69,800円(税別)
主な仕様●接続端子:AV入力2系統(1系統は前面パネルに装備)、AV出力2系統●大きさ(本体):430(幅)×55(高さ)×305(奥行)mm●重さ:約3.9kg
●付属品:映像用接続コード(ピンジャック)×2、マウス、コントローラー

この誌面に掲載の全商品の価格には消費税は含まれておりません。

表現力豊かなデジタルの魅力をプラスして、自在な映像づくりを実現。デジタルビデオアダプター。

オリジナリティを生かして、映像とよりアクティブにつきあいたい、という方におすすめしたいのが、このデジタルビデオアダプターXV-D300です。ビデオ画像を分解写真のように映し出す9画面マルチピクチャー、画像の好みの部分を4倍に拡大するデジタルズームなど、映像と自由自在に遊べる数々のデジタル機能を装備。多彩な表現力がビデオプレイや編集の楽しさを、より一層大きくしてくれます。

9画面マルチピクチャー

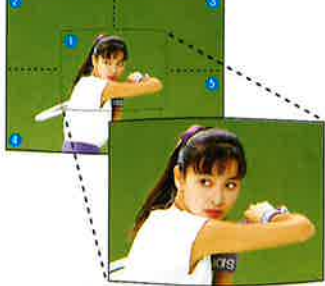


音声は通常通りで、画像を分解写真のように次々とディスプレイ。スポーツフォームの分析や歌の振りなど、楽しみ方は多彩です。一定間隔で9画面分を映して止まる「オート」、一定間隔で繰り返し映し出す「フラッシュ」、ボタンを押すごとに映し出す「メモ」の3モードを装備。オート/フラッシュ時は映す速さも8段階で選べます。

フラッシュモーション

画像を一定間隔で次々に静止画として見ることが出来るフラッシュモーション機能も装備しました。音声は通常のままで、ライブ撮りの編集などにもぴったり。プロモーションビデオなどでおなじみの高度なテクニックが手軽に駆使できます。しかも画像の入れかえ速度もエフェクトボタンにより8段階で調整可能です。

4倍デジタルズーム



画像の好みの部分を4倍に拡大して映し出します。小さなテロップ文字や画面のすみの気になる部分を自由にズームアップ。拡大ポイントは、①中央②左上③右上④左下⑤右下の5つの部分を選べます。ストップモーションと併用すれば、好みのシーンを「停止→拡大」して楽しめます。

ストップモーション/リコール

●画像のブレが少なく、鮮明なデジタル静止画を再生するストップモーション機能を装備。音声は通常通りで、画像だけを一時停止できます。●最後に操作したデジタル静止画をワンタッチで呼び出せる、リコール機能。決定的瞬間のストップモーションやマルチピクチャー画面など、お好みのシーンを何度でもすぐ呼び出せます。

モザイクアート

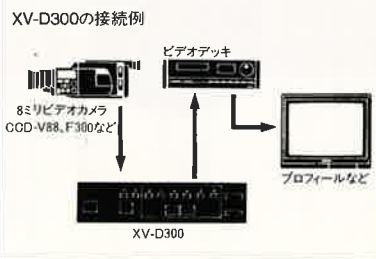
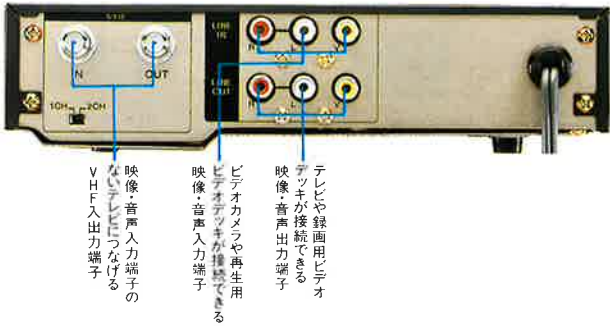
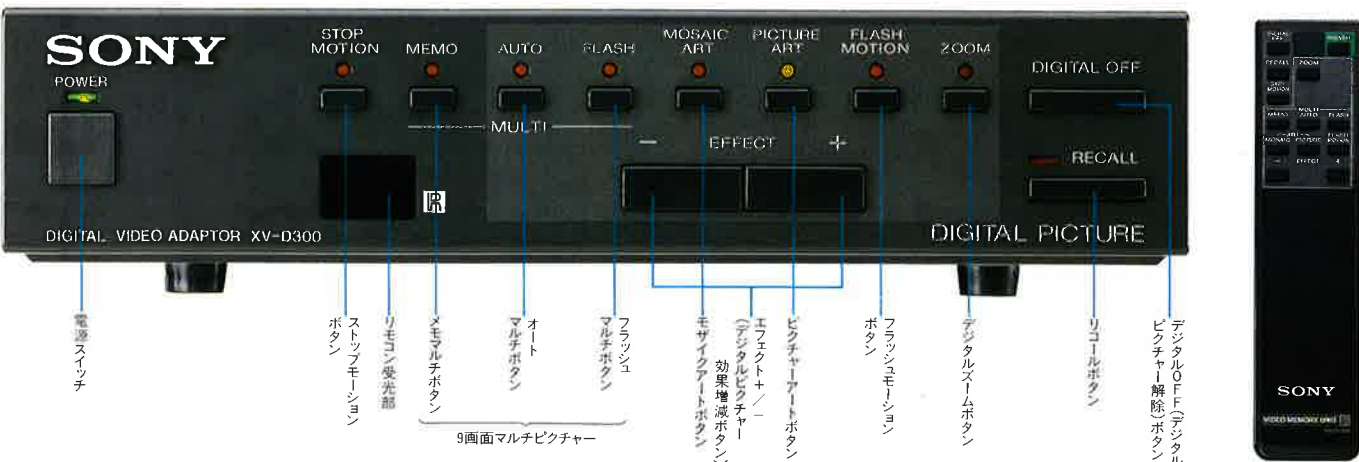


画像を細かな四角形で表現するモザイクアート。テレビのクイズ番組でおなじみの特殊効果が楽しめます。変化の度合いも3段階で調整可能。ゲーム感覚で楽しめるように工夫したり、応用次第でさまざまに活用できます。ストップモーション/フラッシュモーションとの併用も可能。

ピクチャーアート



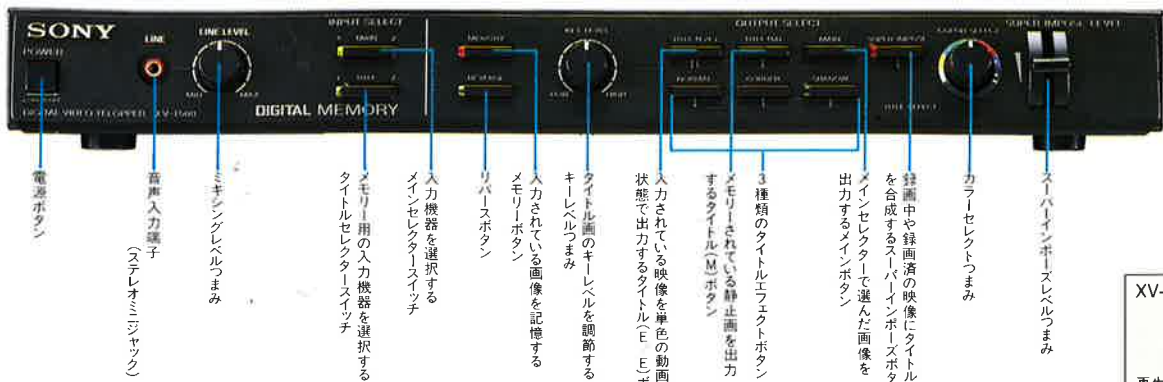
画像のコントラストを強調し、油絵を思わせるようなソラリゼーション効果が楽しめるピクチャーアート。油絵的な度合いも3段階で調整。シーンとシーンの間の印象的なショットなど、一味違った映像づくりにチャレンジできます。ストップ/フラッシュモーションとの併用も可能。



●映像・音声入力端子のないテレビにもつなげるVHF出力端子。
●離れたところからでも操作できるワイヤレスリモコン付属。※VHF入力端子に入力した信号はデジタル処理できません。
デジタルビデオアダプター
XV-D300
(ワイヤレスリモコンRMT-190付属)
標準価格 39,800円(税別)
主な仕様●接続端子: AV出力端子 1系統、RF端子 1/2ch
●大きさ: 215(幅)×55(高さ)×265(奥行)mm ●重量: 約2.5kg

タイトル画を簡単操作でビデオ画像に合成できる。

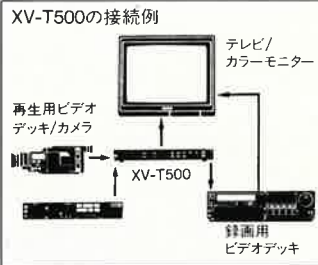
XV-T500は、ビデオカメラで撮影したオリジナルのタイトル画を簡単操作でビデオ画像に合成できる、デジタルビデオテロップです。また、タイトル画の記憶や、文字のふちどり、8色のカラーリングといった豊富なテクニックも楽しめます。



タイトル用の映像を一画面だけ単色の静止画で記憶する、デジタルメモリ回路内蔵。
タイトル用に記憶したメモリ画像をベースに、3つのテクニックを使ってオリジナルタイトル画が作れます。①8色のカラーリング: メモリー画のベース色を赤・青・黄など8色の中から選択可能。②リバーズ機能: 単色のメモリ画像を反転。③3種類の文字のふちどり: 抜き文字、ボーダー(黒いふちどり)、シャドウ(影)の、3モードが選択可能。



タイトル画をビデオ画像に合成。プロ感覚のフェードイン/アウトも楽しめるスーパーインポーズ機能。
出力セレクトスイッチをスーパーインポーズモードにすれば、作成したタイトル画をビデオ画像にスーパーインポーズできます。録画用のビデオデッキを接続すれば、その画像を記録することも可能。また、レバー方式のスーパーインポーズつまみで、プロ感覚あふれるフェードイン・フェードアウトも自由に行なえます。●映像・音声入力2系統を前面で切り換えできる入力セレクト機能●オーディオ機器の音声とオリジナルの音声のみがミキシングできるオーディオミキサー機能



※映像出力端子がない場合、別売のカメラACアダプターが必要で、白黒カメラは使用できません。

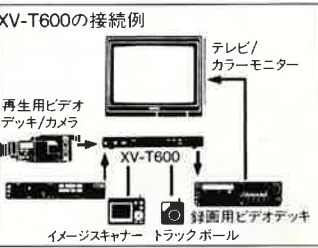
デジタルビデオテロップ
XV-T500
標準価格 59,800円(税別)
主な仕様●接続端子: AV入力2系統、オーディオ入力1系統(ステレオミニ)、AV出力2系統、タイトル画出力1系統●大きさ: 430(幅)×55(高さ)×325(奥行)mm ●重量: 4.1kg

多彩な映像処理で、個性豊かな作品づくりを実現。

ありきたりの編集ではなく、より独創的な映像を追求したい。こうした声に最先端の映像処理で応えるピクチャーコンピュータ、XV-T600。スキャナーで素材をトレースし、着色・描きこみ・スーパーインポーズなど多彩な処理が駆使できる、まさに映像新時代の必須アイテムです。



別売トラックボール GB-6
標準価格 9,800円(税別)

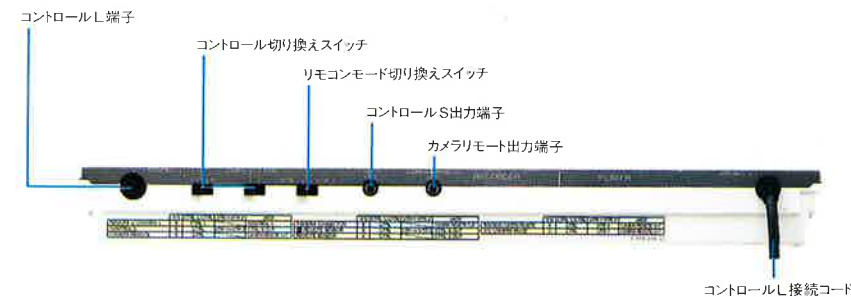
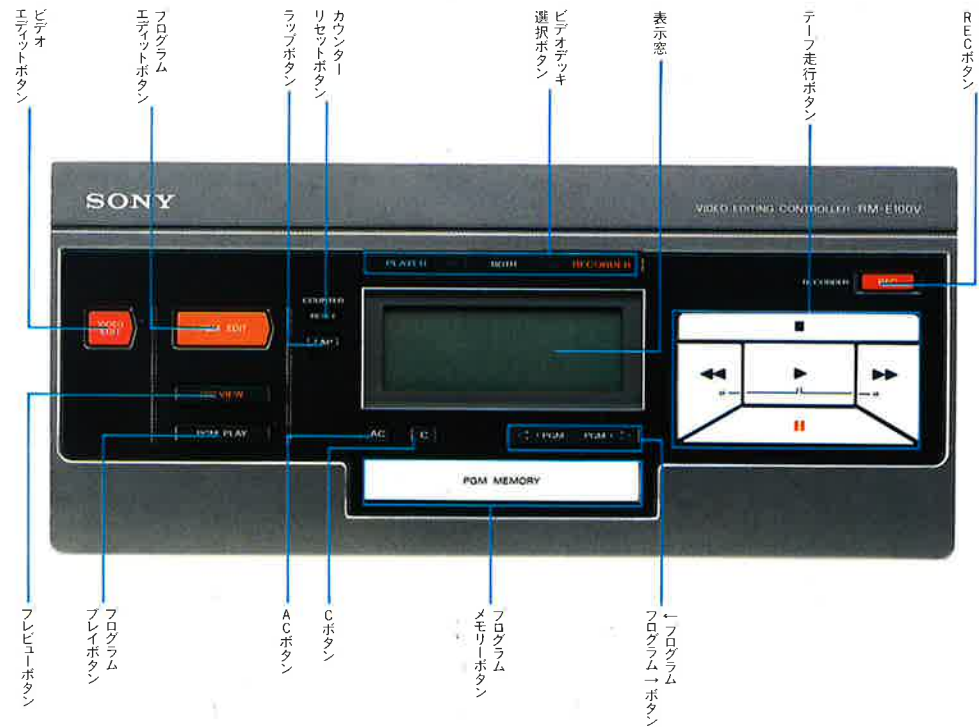


ピクチャーコンピュータ
XV-T600
標準価格 69,800円(税別)
主な仕様●接続端子: SCANNER接続端子、TRACK BALL接続端子、AV入力2系統、AV出力2系統、データコーダー接続端子 ●大きさ: 430(幅)×55(高さ)×225(奥行)mm ●重量: 4.5kg ●別売アクセサリ: RFUアダプター RFU-88 (標準価格6,000円・税別) MSX用トラックボール GB-6 (標準価格9,800円・税別)

基本色は15色。着色したい部分にポイントを移動し、ペイントボタンを押すだけ。ぬり絵感覚でカラフルなビデオアートが自由に作成できます。
映像入力に別の映像信号をつなげば、着色や描きこみをして作ったオリジナル画を、他の映像の上に手軽にスーパーインポーズ(合成)が可能。

8ミリビデオ・ベータ・VHS間をつないで集中コントロール。 よりスマートなビデオ編集に活躍する自動編集コントローラー。

ビデオ編集は、より簡単に、スピーディにこなしたい——そこでお勧めしたいのが、自動編集コントローラー、RM-E100Vです。
2台のビデオデッキが集中コントロールでき、最高8プログラムまでの自動編集が実現。
リモートコントロールユニット、RMT-E1Vとのコンビネーションにより、さらにスマートな編集プレイが楽しめます。



自動編集コントローラー、RM-E100Vは、ソニーのコントロールL端子を持つVTR (8ミリビデオ・ベータ・VHS)を再生機として、コントロールLまたはコントロールS端子を持つVTRをつないで、手元操作で簡単にビデオ編集の集中コントロールを実現。使いやすいキーボードタイプで、操作はとてもシ



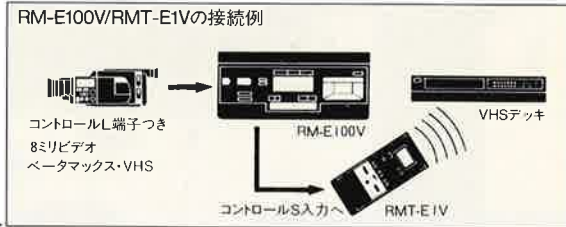
ンプルです。編集したい場面を最高8か所までプログラム設定でき、お好きな順にワンタッチ編集できるアッセンブル編集。また、見やすい大型液晶表示により、編集場面のカウンターや接続したビデオデッキの動作状態なども一目でわかり、使いやすさを一層高めています。さらに、リモートコントロールユニット、RMT-E1Vと組み合わせて使うことにより、リモコン操作による自動編集も行なえます。

自動編集コントローラー

RM-E100V

標準価格 42,000円(税別)

●大きさ: 355(幅)×40(高さ)×160(奥行)mm ●重さ: 850g



※RMT-E1Vでは、日本ビクター株式会社製のビデオデッキへの編集はできません。



赤外線リモコン信号を記憶する 「かしこいリモコン」。

RM-E100Vに、コンパクトなリモートコントロールユニット、RMT-E1Vを接続すれば、自動編集がリモコン操作で可能に。また「MEMO」モードでは、学習機能を使ってソニー以外のVHSデッキやオーディオ機器、エアコンなどのリモコン信号を最大10キーまでメモリーできます。

リモートコントロールユニット

RMT-E1V

標準価格 10,000円(税別)

主な仕様 ●入力端子: コントロールS入力端子
●大きさ: 70(幅)×157(高さ)×35(奥行)mm ●重さ: 約140g

この誌面に掲載の全商品の価格には消費税は含まれておりません。



拡がる、新・映像領域。

つなぐ・結ぶ・拡がる——いまビデオ編集は、より多種多彩な周辺機器とのシステムティックな関係へと、その領域を拡げています。
そこで、ビデオ編集システムのコントロールセンターとなるのが、“エディット・ギア”のAVシステムセクターです。
より高度で、個性豊かなビデオ映像の世界を求める人に、先端の機能と可能性をお届けします。

AVシステムセクター

SB-V3000 SB-V700 SB-V4B SB-V6 SB-V3 SB-V1

6系統フルマトリクス機能(S映像端子対応)搭載。 多彩なAVソースを自在に操れる、高級AVセレクター。

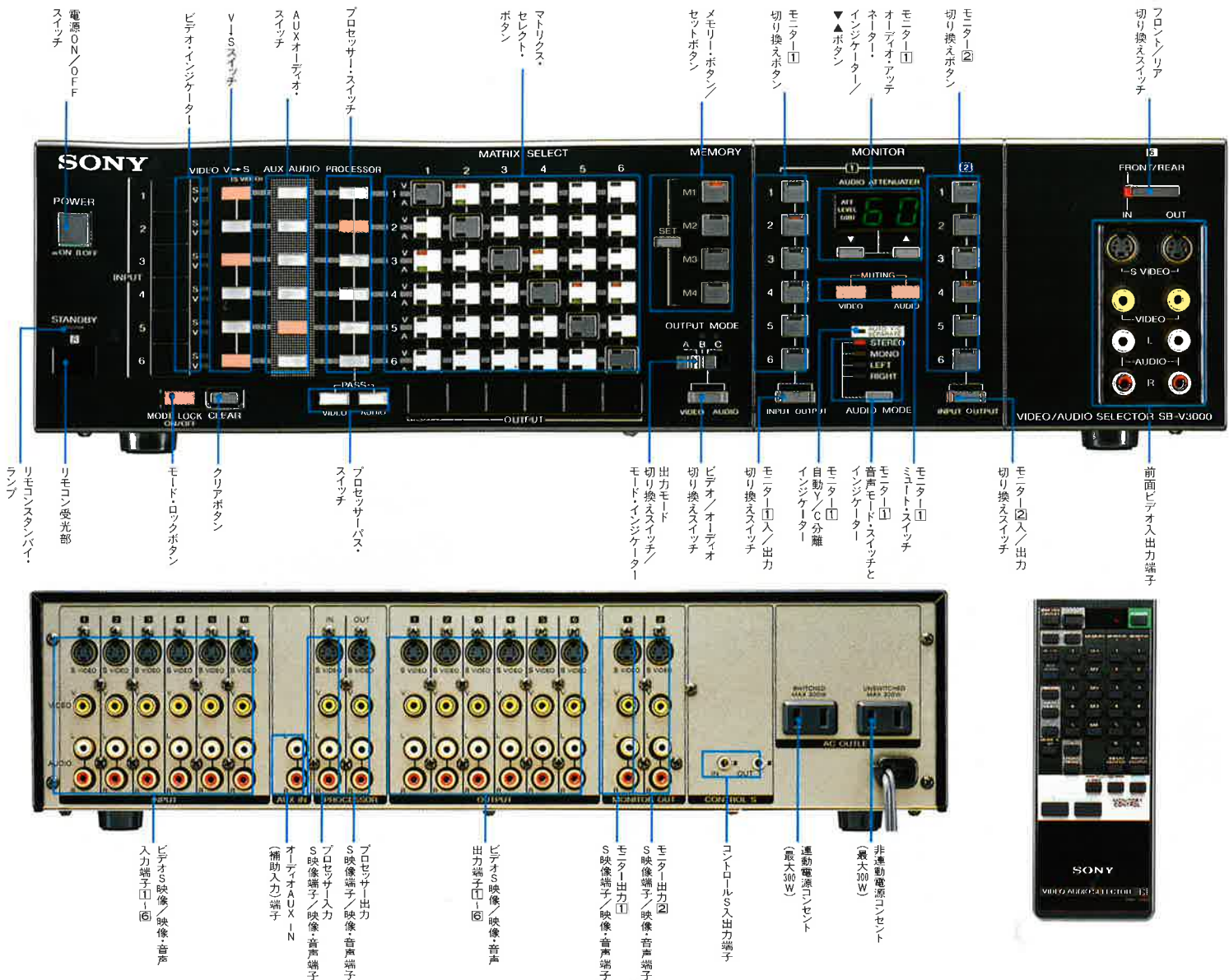
「見る」「撮る」から、「創る」「編集する」へ。くHi8やくEDベータなどの登場から始まった新・映像クオリティ時代はいま、より高い次元へと発展。
多彩なAV機器を自由自在に組み合わせて編集できる、入・出力全6系統フルマトリクス機能搭載の、SB-V3000。
6系統のS映像端子、4系統のY/C分離回路など、徹底した高画質対応で、これからのビデオ映像の楽しさと可能性をさらに拡げます。



多彩なAV機器を、自由に組み合わせて編集できる、
新開発、フルマトリクス・セレクト機能を搭載。
SB-V3000は、6系統の各入・出力端子にあらゆるAV機器を接続し、それぞれ入力と出力を独立させて、自由な組み合わせでダビング編集が楽しめます。1系統の入力から複数のビデオデッキへの分配はもちろん、次の3つの出力パターンの選択ができます。①モードA：入力①の機器からの信号は①以外の出力端子にアウトプット(入力②以下も同様)。このとき信号がひとまわりするような設定をすると、マトリクス・セレクトボタンが点滅。②モードB：入力①からの信号を出力①にもアウトプット可能。入・出力が独立し、組み合わせに制限がなくなります。③モードC：入力信号から映像だけ、または音声だけを選び出せます。例えば、入力①の映像と入力②からの音声を組み合わせて、再び出力①にアウトプットすることが可能。モードBとCでは、同じ番号の入力と出力に別々のAV機器が接続できますから、編集時の入・出力機器の設定の可
※例えば、入力①を出力①に、といった同じ端子番号への設定はできません。

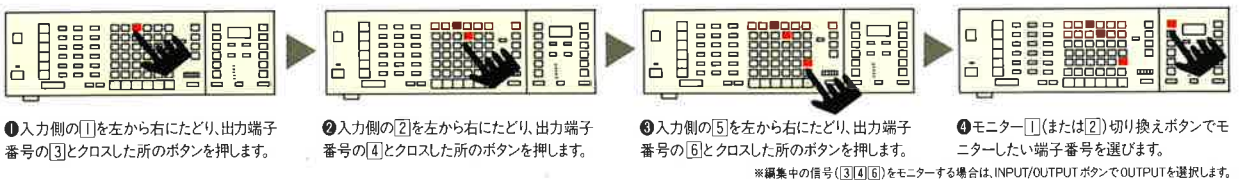
能性が格段に拡がり、より高度な編集が楽しめます。
入・出力の組み合わせが、簡単操作で設定でき、
マトリクス・セレクトボタンを装備。
入力機器を選び、その信号をどの出力機器にアウトプットするかを設定する一連の操作は、前面のパネルを左から右にたどることによって、自然に行なえます。この
6×6のマトリクス・セレクトボタンは、入・出力の組み合わせ状態が一目でわかり、操作性・視認性にすぐれています。これにより、高度な編集も組み合わせのミスなく実現。また、設定した状態をそのまま固定するモードロック機能も装備。ダビング中などに設定を変えてし

まう、といったミスを防ぎます。さらに、設定した組み合わせ状態や、モニターなどの使い方は、4つのメモリーボタンで記憶可能。メモリーした設定状態は、そのメモリーボタンを押すだけで、ワンタッチで呼び出せます。
高画質ビデオのクオリティが生きるS映像端子を、
入・出力6系統、モニター出力2系統、すべてに装備。
高画質のカギとなるS映像端子を、入・出力全6系統、モニター出力1系統、プロセッサ入・出力1系統に採用。さらに、入力6系統(V→Sスイッチによる3系統切り換え式)と、モニター出力1系統に、高性能Y/C分離回路を搭載。S映像端子のない機器からの信号をS映像信号に変換して出力します。しかも、高性能ビデオアンプの搭載により、映像周波数特性は10MHz、水平解像度は800本を実現。表現力豊かで、ハイクオリティなビデオ映像が得られます。



6系統の入・出力端子に接続されたAV機器を、自由自在に組み合わせてビデオ編集が行なえます。マトリクス・セレクトボタンは、ヨコ軸が入力、タテ軸が出力端子を示しています。入力側を左から右へたどっていき、出力させたい出力端子番号とクロスした所のボタンを押すことによって、入・出力が設定できます。
●ビデオ機器6台を使って、同時に3系統の並行ダビングをするとき。く例①の機器の信号を③の機器に、②の機器の信号を④の機器に、⑤の機器の信号を⑥の機器に記録する場合。

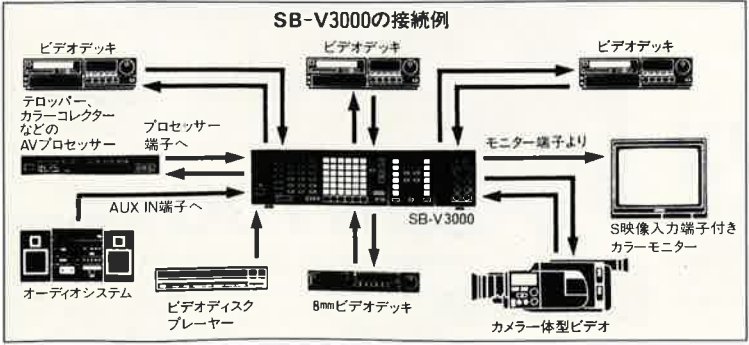
フルマトリクス・セレクト機能操作の手順



より高度な編集を実現する、充実した機能を装備。
6系統の入力それぞれの音声を、AUX IN端子からの音声信号に入れ換えられるAUX AUDIOスイッチを装備。映像に、好きな音楽を簡単に組み合わせられます。さらに、各ビデオ入力ごとに装備したAVプロセッサ切り換えボタンによって、どの入力系統でプロセッサの特殊効果を使うかが、自由に選択できます。

編集の魅力をさらに高める、多彩なモニター機能。
2系統のモニターに出力する信号は、1〜6の切り換えボタンで選択。INPUT/OUTPUT切り換えスイッチにより、入力時の画像・音声と、AVプロセッサ効果を加えた画像・音声の比較モニターも可能です。モニター①には、音量調節、音声のステレオ/モノラル/Lchのみ/Rchのみ、の切り換え、さらに高性能Y/C

分離回路も搭載。また、多彩な操作が手元でスピーディに行なえるワイヤレスリモコンを標準装備しています。
く(その他の主な機能)●前面パネルにもビデオ入出力端子(S映像端子対応)を装備。背面パネルのビデオ入出力⑥と切り換えでき、カメラ型ビデオなどの接続に便利。●モニター①の音声出力レベルをL・Rch独立でデジタル表示するAUDIO ATTENUATORインジケータを装備。●AVプロセッサを通過せずに信号を出力させる、映像・音声独立のプロセッサ・バススイッチを装備。●すべての入出力端子に金メッキジャックを採用。●コントロールS入出力端子を1系統装備。



AVシステムセクター

SB-V3000 (ワイヤレスリモコン RMT-3000付)

標準価格 95,000円 (税別)

新発売

主な仕様 ●S映像端子入出力:ビデオ6系統*モニター2系統(出力のみ)、プロセッサ1系統 ●映像入出力:ビデオ6系統*モニター2系統(出力のみ)、プロセッサ1系統 ●音声入出力(ステレオ):ビデオ6系統*オーディオ1系統(入力のみ)、モニター2系統(出力のみ)、プロセッサ1系統 ●端子:S映像入出力4ピンミニDIN、映像入出力4ピンジャック、音声入出力4ピンジャック、コントロールS入出力4ピンジャック ●電源:AC100V、50/60Hz ●消費電力:43W ●大きさ:430(幅)×115(高さ)×370(奥行)mm ●重量:約7.1kg ※うち1系統は前面と背面の両パネルに装備。

この誌面に掲載の全商品の価格には消費税は含まれておりません。

全系統S映像端子対応で、高画質編集も自在。 5台のビデオ機器が接続可能なAVセクター。

パレロ、くHi8)やくEDベータ)、そしてS映像端子付テレビの登場——ビジュアルシーンは、いよいよ新たな高画質時代を迎えました。SB-V700は、入力4系統/出力5系統すべてにS映像端子を装備。新・映像クオリティにフル対応したAVシステムセクターです。ビデオデッキ4系統の相互ダビングをはじめ、多彩な編集機能により高画質編集システムの自在な操作を可能にします。



ワンタッチ操作で、ビデオ機器4系統それぞれの相互ダビングが可能。

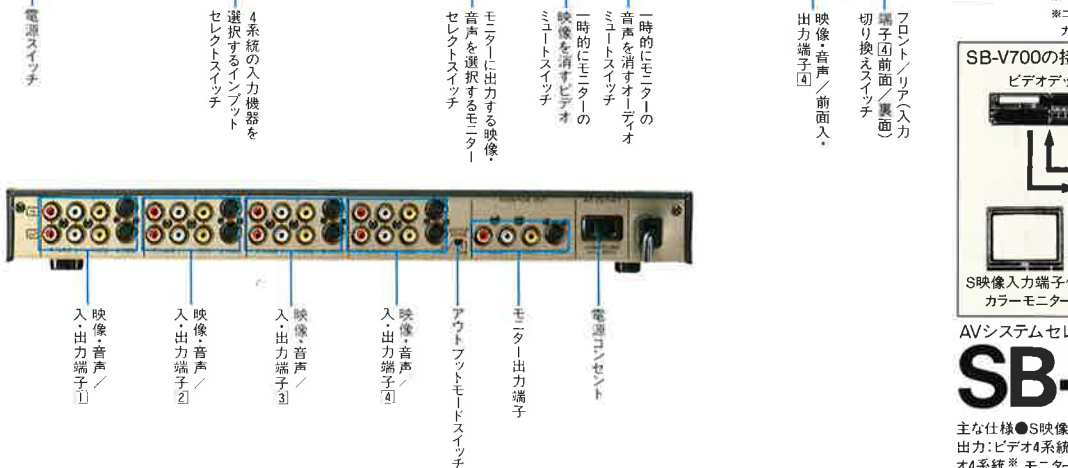
例えば、4系統すべてにビデオデッキを接続した場合には——インプットセレクトスイッチをワンタッチするだけで、①を選べば②、③、④へ、②を選べば①、③、④へと、それぞれの相互ダビングが可能。ビデオデッキ4台が、つなぎかえなしでフルに使いこなせます。また、前面入出力端子にビデオカメラを接続すれば希望のデッキで編集が楽しめます。

同時に6本のダビングテープが作れます。最大6系統のディストリビュート(分配)機能。

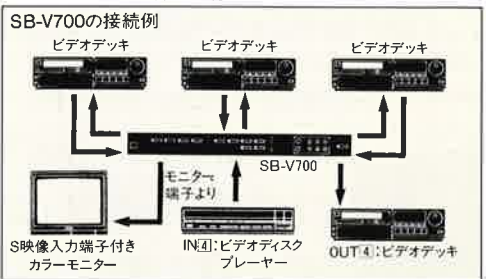
背面のアウトプットモードスイッチをREC OUTにすれば、IN④に入力された信号がそのままOUT④(前面及び背面)にも出力されます。例えばIN④にビデオディスクプレーヤーをつなぎ、インプットセレクトで④を選択するとOUT①～④に信号を出力。さらに、モニター出力端子にもビデオを接続すれば合計6台のビデオへ同時にダビング可能です。

高画質ビデオの映像クオリティをフルに引き出すS映像端子を全系統に装備。

SB-V700では、ビデオ入出力全系統及びモニター出力にY/C分離信号の鮮明映像を伝えるS映像端子を装備。EDベータやS-VHSならではの映像クオリティをフルに生かします。●前面入出力端子：前面パネルにも映像・音声入出力端子を装備。背面パネルの入出力端子④とワンタッチ切り換えで、カメラ一体型ビデオなどの接続に便利です。



※コンポジットビデオ入力信号をS映像端子へ出力することはできません。
※コンポジットビデオ入力はコンポジットビデオ出力へ、S映像入力はS映像出力へのみ出力されます。



AVシステムセクター
SB-V700 標準価格 35,000円(税別)

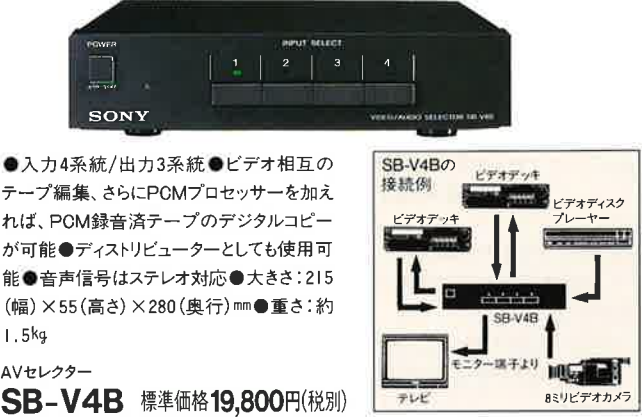
主な仕様●S映像入出力：ビデオ4系統※、モニター1系統(出力のみ)●映像入出力：ビデオ4系統※、モニター1系統(出力のみ)●音声入出力(ステレオ)：ビデオ4系統※、モニター1系統(出力のみ)●端子：S映像入出力…4ピンミニDIN、映像入出力…ピンジャック、音声入出力…ピンジャック●大きさ：430(幅)×55(高さ)×340(奥行)mm●重さ：3.8kg ※うち1系統は前面と背面の両パネルに装備。

よりコンパクトに、つなぐ・編集する…小型AVセクター。

ビデオデッキ2台とテレビが接続可能。 テープ編集対応の小型エディットセクター。



ビデオ機器4系統をワンタッチ切り換え。 オーソックスな、AVセクター。

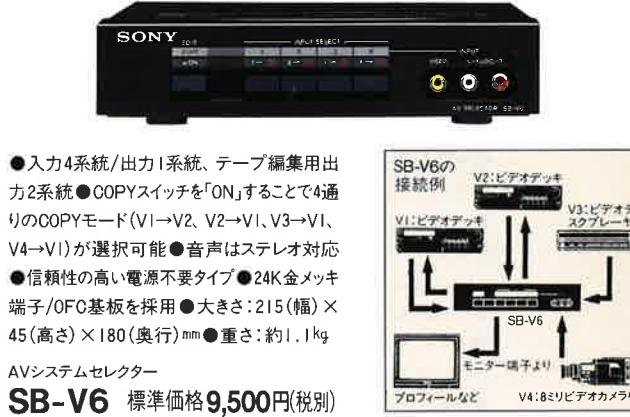


●入力4系統/出力3系統●ビデオ相互のテープ編集、さらにPCMプロセッサーを加えれば、PCM録音テープのデジタルコピーが可能●ディストリビューターとしても使用可能●音声信号はステレオ対応●大きさ：215(幅)×55(高さ)×280(奥行)mm●重さ：約1.5kg
AVセクター
SB-V4B 標準価格19,800円(税別)

AVシステムを気軽にセレクト。ビデオ機器3系統を操作する小型AVセクター。



セクター機能に加え、編集用出力を2系統装備したコンパクトAVセクター。



●入力4系統/出力1系統、テープ編集用出力2系統●COPYスイッチを「ON」することで4通りのCOPYモード(V1→V2、V2→V1、V3→V1、V4→V1)が選択可能●音声はステレオ対応●信頼性の高い電源不要タイプ●24K金メッキ端子/OF0基板を採用●大きさ：215(幅)×45(高さ)×180(奥行)mm●重さ：約1.1kg
AVシステムセクター
SB-V6 標準価格9,500円(税別)

液晶カラーモニター

撮影しながら同時モニター、さらにその場で、再生モニター。 カメラ撮りの楽しさを一気にアップ。

色の濃さ調整つまみ
色あい調整つまみ
明るさ調整つまみ

スピーカー
再生中の音声がモニターできます。

蛍光管収納部
蛍光管寿命：1日2時間使用で約2年間

DC IN外部電源端子
別売のAC/DCアダプターAC-D4L/カーバッテリーコードDCC-127A(12V車用)、またはDCC-240(24V車用)を接続します。

音声・映像入力端子
イヤホン端子

OUT DOOR

ON THE DESK

新感覚。コンポ式の液晶カラーテレビシステムです。ポケットテレビとして、ビデオカメラ用モニターとして、使い方は、まさに自由自在です。

XV-M3は、ビデオカメラ用の3型液晶カラーモニターです。高性能TFTアクティブマトリクス方式、92,160個の高密度画素、3電源方式などにより、ビューファインダーでは味わえなかった迫力と鮮明画像で、カメラ撮りの楽しさを大きく広げます。専用フード/スタンド付き。
※テレビ画面はハメコミ合成しています。

LCDカラーモニター
XV-M3
標準価格 47,800円(税別)

主な仕様●表示方式：透過型TN液晶パネル●画素数：92,160画素●音声出力：100mW●接続端子：外部電源端子(DC6.5V)、イヤホン端子、音声・映像入力端子(A/V IN)●大きさ：98(幅)×100(高さ)×40(奥行)mm●重さ：本体約300g(乾電池除く)

2.7型液晶カラーテレビシステム
FDL-33S
標準価格 54,800円(税別)

システム内容：液晶カラーモニター、マイクロTVチューナー、バッテリーケース/主な仕様●表示方式：TFTアクティブマトリクス方式液晶パネル●画素数：86,400画素●大きさ：87.5(幅)×77.8(高さ)×71(奥行)mm●重さ：約430g(乾電池含む)